

多読クラブ通信(2013年9月号)

10月-12月が多読クラブ第4期となります。継続してご利用いただけるかたは9月末までに次期3か月分の会費の納入をお願いいたします。9月一杯で退会、休会される方は9/25までにご連絡のうえ、月末までに本の返却をお願いいたします。

新規入荷本のご紹介。置き置きリクエストは stepworld@e-pal.co.jp まで。

ペンギンキッズ、ステージ1の10冊。YL:0.4 総語数:各 80-130。全てCD付き。

- Winnie the Pooh
- Dumbo
- Peter Pan
- Making Music
- Where I Live
- Cinderella
- Finding Nemo
- Sleeping Beauty
- Wheels Go Round
- The Wedding



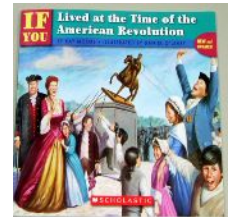
ペンギンキッズステージ2の9冊。YL:0.6 総語数:各 200-270。全てCD付き。

- Bambi
- Jungle Book
- Little Mermaid
- Clothes at Work
- Snow White and the Seven Dwarfs
- Monsters Inc
- Toy Story
- Awake At Night
- Tom at the Harbour



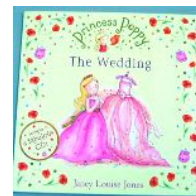
- If You Lived at the Time of the American Revolution YL:3.5 総語数:6700

18世紀後半にイギリス領だった東部13州が結束し、アメリカ独立戦争を経て、合衆国を形成する。アメリカ革命時代を子供向けに説明している本です。



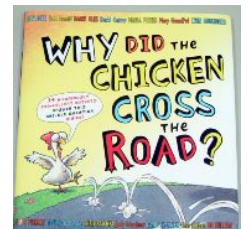
- The Wedding YL:1.2 総語数:1200

Princess Poppy シリーズに1冊追加です。



- Why Did the Chicken Cross the Road YL:3.0 総語数:400

超有名な絵本作家14名が、個性豊かにおやしギャグに答えをよせるという絵本です。この絵本のタイトルそのものが実はおやしギャグです。絵のタッチを見ていると、「あっ、あの絵本と同じだ！」という発見がいくつかあるはず。



Go Girl シリーズに3冊追加。これで計7冊となりました。

- Secret Club YL:3.5 総語数:6700
- Worst Gymnast YL:3.5 総語数:7200
- Sister Spirit YL:3.5 総語数:6700

このシリーズは複数の著者が書いています。



PGR に5冊追加。レベル3~5。

- Last King of Schotland YL:3.5 総語数:13700
- Cellist of Sarajevo YL:3.4 総語数:14000
- Knife Edge YL:4.5 総語数:19500
- Pelican Brief YL:4.8 総語数:19000
- Middlemarch YL:4.7 総語数:26400

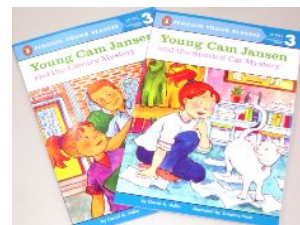


Young Cam Jansen シリーズに2冊追加

●Library Mystery YL:1.3 総語数:1400

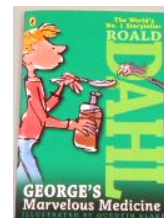
●Spotted Cat Mystery YL:1.3 総語数:1700

このシリーズは Ready to Read から Penguin Young Readers に枠組み変更になっています。場所がわからない時は担当者にお声をかけてください。



●George's Marvelous Medicine YL:4.0 総語数:11600

両親が買い物に行くため、ジョージは留守番をすることになり、11時におばあさんに薬を飲ますように頼まれた。このおばあさんは、とても感じが悪いので、ジョージは嫌っていた。そこで、本来の薬に代わり、ジョージはいろいろな物を混ぜて作った液体をおばあさんに飲ませた。その結果は。いかにもダールらしい作風です。



●Pelican Brief(DVD)

PGR で入荷した本の DVD 版です。この DVD ケースを開けてみたらびっくり、表も裏もキラキラで、ラベルの印刷が無いのです。どちらが上になるのかわからぬまま、とりあえずプレーヤーにセットしてみると、なぜか解けました。映像の途中でストップし、DVD を逆さまにするよう指示が掲示されたのです。つまり両面に録画されているのでした。初めての経験でした。



●The Invention of Hugo Cabret(DVD) ヒューゴの不思議な発見

原作の本は2冊在庫があります。ハードカバーで厚さ5センチですが YL:4.3 総語数:26900 と文字のページより絵だけのページの方が多いような本です(CD3枚付き)。できれば映画より本を先に読まれることをお勧めいたします。



●本当に英語を話したいキミへ(日本語) 川島永嗣

日本を代表する GK の川島永嗣。現在、ベルギーのチームに所属する彼は、外国メディアのインタビューの受け答えを流暢な英語で難なくこなし、生活する地域に合わせてオランダ語、フランス語なども使い分ける。日本語を含め実に 7 か国語を解するスマートな川島——。だが、意外にも彼は“まったく英語が話せない”いわばゼロ地点からスタートした男でもあった。



●やさしい洋書ガイド(日本語)

英語学習者用に語彙制限された Graded Readers は扱わず、アメリカの小学生が読む本をメインに全 202 冊を紹介しています。「やさしい」とは言え、児童書系になりますので、けっこう読み応えのある本が多いです。



●Never Let Me Go YL:7.0 総語数:96100 CD(8枚)あり

イングリッド作品第6作。舞台は1990年代末期のイギリス。ある施設で育った 31 歳の女性が、自分の幼少期から青春時代を語る。この女性が育った施設は一見普通の寄宿学校のように感じるが、実は外から完全に隔離され、忘れられたような存在。この施設の謎を、女性の思い出話として語られていく。避けられない運命と共に成長する子どもたち。時には事件が起こり、時には恋が芽生える。大人になりきっていない子どもだからこそその感受性や残酷さがとても鮮明に、イングリッドらしく表現されています。

